ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

Tremelimumab＋Durvalumab＋PEM＋CDDP療法(short hydration)

3 週毎 4 コース予定

非小細胞肺癌

主治医　　指導医

HBs抗原(　)、HBs抗体(　)、HBc抗体(　)、HCV抗体(　)

スケジュール

		day1
イジュド(トレメリブマブ)	75 mg/body	↓
イミフィンジ(デュルバルマブ)	1500 mg/body	↓
ペメトレキセド	500 mg/m^2	↓
シスプラチン	75 mg/m^2	↓

【注意】 ＊他剤併用時はトレメリムマブ、デュルバルマブ投与前に血管確保用生食にてフラッシュすること

＊トレメリムマブ、デュルバルマブはインラインフィルター(0.2または0.22μm)を使用して投与すること

＊体重30 kg以下の場合のデュルバルマブの1回投与量は20 mg/kgとすること

＊一日の尿量が3000mL以上になるように調整すること

＊シスプラチンは遮光のこと

＊治療前日から翌々日まで通常の飲水に加えて、経口補水液500mLを1日2本飲水すること

＊ペメトレキセド投与の7日以上前よりパンビタン末を1g分1で内服開始[注1]

＊ペメトレキセド投与の7日以上前より

メチコバール中500μg 2A(1mg)を筋注(以後9週間毎)[注2]

注1：投与中止または終了する場合には、最終投与日から22日まで可能な限り投与する。

注1：投与期間中及び投与中止後22日目まで9週ごとに1回投与する。

＊4コース終了後、維持療法(A期)へ移行すること

通常量より減量する際の理由

(レジメン)

Day 1

① 生食 500 mLにて血管確保　　維持(20 mL/時間)

② イジュド 75 mg　＋　生食 100 mL　　点滴静注60分(100 mL/時間)

☆初回は60分間観察、2回目以降は省略可能

◎メインの生食でフラッシュ

③　イミフィンジ 1500 mg　＋　生食 70 mL　点滴静注60分(100 mL/時間)

◎メインの生食でフラッシュ

☆初回は60分間観察、2回目以降は30分に短縮可能

④　生食 500 mL ＋ L-アスパラギン酸K 10 mEq ＋ 硫酸Mg補正液 4 mEq

点滴静注60分(500 mL/時間)

⑤　アロカリス 235 mg ＋ パロノセトロン 0.75 mg ＋ デキサメタゾン 9.9 mg ＋ 生食 100 mL

点滴静注30分(200 mL/時間)

◎メインの生食でフラッシュ

⑥　ペメトレキセド　＋ 生食 100 mL　点滴静注10分(600 mL/時間)

◎メインの生食でフラッシュ

⑦　20%マンニトール 200 mL　点滴静注30分(400 mL/時間)

⑧　シスプラチン　＋ 生食 300 mL　点滴静注120分(240 mL/時間)

＊生食 200 mLをバッグから前もって抜いておく

⑨　生食 500 mL ＋ L-アスパラギン酸K 10 mEq ＋ 硫酸Mg補正液 4 mEq

点滴静注60分(500 mL/時間)

◎終了後、メインの生食でルート内フラッシュ

Day 2-4 デキサメタゾン錠 8 mg 内服

	1コース	2コース	3コース	4コース
	day1	day1	day1	day1
月日	/	/	/	/
イジュド 開始時刻	↓	↓	↓	↓
イミフィンジ 開始時刻	↓	↓	↓	↓
ペメトレキセド 開始時刻	↓	↓	↓	↓
シスプラチン 開始時刻	↓	↓	↓	↓
確認				